

みどい生活の楽しみ⑨

～フローラルアクセサリーを身につけて
コーディネートを楽しもう～

☆フローラルアクセサリー☆

ここ数年ビーズアクセサリーが流行し、本屋で書物をたくさん目にすることができます。今回はそのアクセサリーにもうひと工夫加えたフローラルアクセサリー作りをご紹介します。

フローラルアクセサリーとは、植物素材を材料として加えたコサージュ、髪飾り、ネックレス等を指します。

日本ではあまり男性がコサージュを身につけていませんが「冬のソナタ」を見た方はわかるように、韓国では男性もよく身につけています。フローラルアクセサリーは男女問わず使用でき、今までとはひと味違ったコーディネートが楽しめます。素材は植物を使ったものなら生花・ドライフラワー・プリザーブドフラワー等なんでも使用できます。形も様々な物がつくれます。

今回はネックレスと男性が胸につけるブートニアの作り方の一例をご紹介します。



☆フローラルアクセサリー(ブートニア)の作り方☆

材料

- ・アルミワイヤー2mm幅(ゴールド) 20cm
- ・アルミワイヤー2mm幅(パール色) 35cm
(色の種類はゴールドやシルバーの他、ブルー・ピンク等数色あります)
- ・パール 2個
- ・糸針金(ゴールド)
- ・生花(バラ) 1本
- ・生花(グニューカリ) 先端部分 2個
- ・フラワーデザイン用接着剤(アクアグルー)
- ・ドライフラワー用の型くずれ防止剤

つくりかた

- ①ゴールドのアルミワイヤーの両端にパールを接着剤でつける。
- ②パール色のアルミワイヤーをらせん状に巻き、ゴールドのアルミワイヤーの両端に糸針金で巻きつけ装飾する。
- ③バラの茎をカットし、切り口に接着剤つけ水分の蒸発を防ぐ。
- ④バラとグニューカリをバランスよく空間の中に配置し、接着剤で固定する。
- ⑤全体のバランスを整え、型くずれ防止剤をスプレーして完成です。

☆ポイント☆

- ①素材は形態の違うもの(材質感の違うもの)を組み合わせ、対比させるとそれぞれの素材が生きてきます。少量でも完成度がアップします。
- ②色彩の効果も商品の価値を左右しますので、色の配分にも注意しましょう。



☆素材のいろいろ☆

①生花

生花を使ったものの魅力はなんといっても輝き。人工では決して作れない生命ある植物の輝き、素材感は格別です。花びら1枚1枚、葉1枚1枚を大切に使用したいものです。使用する際はそのままドライフラワーになり易いものを選ぶと長く楽しめます。

②プリザーブドフラワー

ここ数年東京を中心に売上を伸ばしているプリザーブドフラワー。以前主流だったカサカサしたドライフラワーとは違い、柔らかさを残したソフトドライフラワーは色も豊富で、原色だけでなく雰囲気のあるモダンな色合いも人気があります。

③資材

資材屋、雑貨屋にあるものなら大抵使用できます。あらゆるデザインの可能性があります。

普段よく通る散歩道等、もう一度植物を違う角度でよく観察してみると、新たな可能性やデザインが浮かんできます。皆さんも今度から洋服のコーディネートをする際にフローラルアクセサリーを是非加えてみてはいかがでしょうか。

